



〔後列〕 稲葉 茂見・尾崎 治彦・藤木 保・右山 剛・前川 克己・河野 一郎・元田 幸一・平野 保之
〔前列〕 松野 孝敏・豊田紀代美・副委員長 末松 立身・委員長 清成 澄人・沖村 昭夫・松本 一誠・高橋 節夫

文教常任委員会に付託されました、平成17年度宇城市一般会計暫定予算のうち教育費、奨学金特別会計暫定予算について、3月16日から18日まで全委員が出席、又教育部長を始め関係課長及び各教育分室長の出席を求め、審査を行いました。審査日程について協議ののち、本案に対する部長の概略説明の後、各担当課長に説明を求め、課ごとに質疑を行いました。

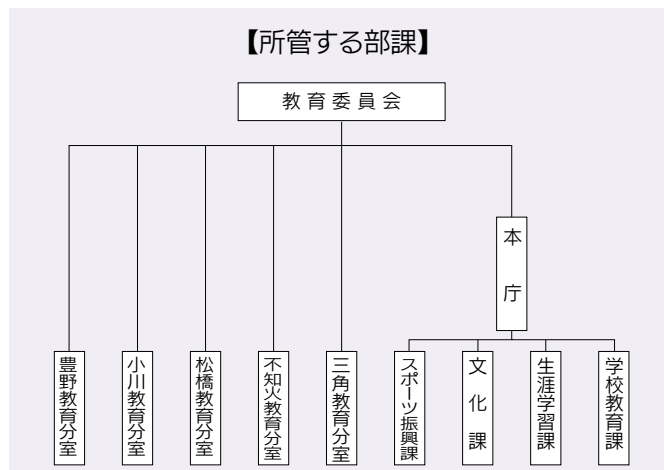
教育費6億1700万円の計上となっておりますが、6月までの暫定予算です。

質疑の主なものと答弁について報告します。

語学指導補助員の採用は、どのようにして行われるのかとの質疑に対し、(財)自治体国際化協会からの人選になっているとの答弁でした。その他、生涯学習等についての質疑がありました。

次に、奨学金特別会計については、高校生2万円で10人、短大生等2万5千円で10人、大学生3万円で20人、総数40人を予定しており、予算の枠内で対応するとの答弁でした。

これに対し、委員から、「貸付条件等、一般に借りやすく、特に返済しやすいように、又、社会的に困難な人が多いので対応して欲しい」「保証人が2人になっているが、親1人にして所得証明は不要ではないか」等の質疑がありました。が、「制度については、合併協議会で検討されている。金額が高額になるので、貸付になります」との答弁でした。以上、本委員会の審査の報告とします。



一般質問

3月定例会では、9日、10日の両日、一般質問を行い、9名の議員が登壇いたしました。

宇城市議会では、一般質問者が多くなることを予想して、事前に申し合わせを定め、質問者の理解と協力をいただきました。その申し合わせにより、質問者1人の持ち時間は答弁を含めて1時間以内、一般質問の順序は原則として通告順となっています。



右山 剛議員

●この質問要約は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。(発言順に掲載)

